

■豪州：世界の供給増で豪 LNG プロジェクトの半数の実行が厳しいと予測

2010年1月13日付け地元紙は、マッコーリー投資銀行の発表した天然ガス市場に関する調査報告書の内容を紹介し、豪州で現在計画中の LNG プロジェクトの実現は厳しいとの見方を示した。報告書は、中国におけるガス生産量の増加、米国の非在来型ガスの増産と輸入の減少に伴うカタールからアジア向けガス輸出の増加、原子力発電の存在感の拡大によって、今後、世界のガス供給量が需要を上回り、現在計画中のプロジェクトの少なくとも半分は中止か延期せざるを得ないと予測している。豪州では現在、2014年にインドネシアおよびマレーシアの LNG 減産によって供給不足となるという予測に基づき、シェブロン社のゴーゴンプロジェクト等、合計で約 2,000 億豪ドルにのぼる開発計画が進められている。